石川養豚場　SDGSの取り組み

項目	NO、	項目	目指すゴール		取組	目標	計測方法
経済	8	働きがいも経済成長も	出荷頭数増加・工場生産量増加	スマート化による生産成績の分析、改善点の明確化による生産性の向上、またその迅速化により、作業、資源、命の無駄を出来るだけ無くす。 新規機械導入による生産性向上、従業員の負担減。	・離乳後事故率低減 ・豚舎増築改築及び運用改善による効率化推進 ・新工場建設/新システムでの製造	＜出荷頭数＞2022年：32000頭→2030年：35000頭 ＜工場生産量＞・・・・ 2022年　300ｔ→2030年　450ｔ	＜出荷頭数＞仕切りなどで計測可能 ＜工場生産量＞ 出荷重量で計測
環境	12	つくる責任つかう責任	循環型社会の実現 （家畜排せつ物の再活用100％維持） 食品ロスの削減	養豚場から出る糞尿を堆肥化して、農家へ供給し、資源循環型農業を目指す。 食肉事業部のロス削減活動により食品ロスを減らす。	・排せつ物の堆肥化・農家供給	100％維持	豚糞処理実績
環境	14	海の豊かさを守ろう	・排水基準と基準水質保全 ・節水	地域に根差す企業として、また農業という自然の恩恵を受け成り立つ企業として、環境負荷軽減の努力は必要不可欠。	・無駄水の削減 ・排水法令基準の遵守	・2030年度までの水質・排水における検査結果の毎年達成実現 ・2030年までに節水10％達成	・水質検査記録で計測、比較 ・水道メーター検針の比較
環境	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	スマート化	スマート化による生産成績の分析、改善点の明確化による生産性の向上、またその迅速化により、作業、資源、命の無駄を出来るだけ無くす。	・年間の紙媒体使用量削減	2030年までに50%削減	・紙の購入量を比較
社会	8	働きがいも経済成長も	多様な人材（若手・高齢者・女性・外国人）が活躍・成長できる職場環境・雇用制度による従業員の物心両面の幸福の追求	持続的な経営のためには不可欠。きついと言われる農業（関連）の労働環境のイメージを払拭し、人材採用を積極的に行う。多様な人材が活躍でき、働き甲斐のある職場環境を整備。	・採用強化 ・社内研修の実施 ・外部セミナーへの参加 ・評価制度の改善 ・労務管理改善 ・各種ハラスメント規定の策定	・2030年までに、職種・雇用形態・性別・年齢・人種問わず農場事業で3名以上・食肉事業5名以上を新規採用を積極的に行い、全従業員が高いモチベーションで働くことができる職場環境の整備を行う。	・採用人数 ・事業部別勉強会、研修・セミナーの実施回数 ・モチベーション測定の外部による検査測定の導入と結果の成長
社会	追加	全ての人に健康を	安心・安全な豚肉の提供 自社限定ブランド豚「あいぽーくの普及」	知多半島の温暖な気候と豊かな自然の中で、飼育から販売まで、自分たちの手がけた安心安全な豚肉をお届けする為に、飼育から販売まで一貫して行います。	・三元豚交配 ・オリジナル餌配合 ・季節に合わせた餌配合調整 ・農場HACCP・JGAP認証取得	・年4回の飼料打ち合わせによる適正判断 ・季節毎の食味検査実施	・農場と直売店の迅速な情報交換と四半期に一度の打ち合わせ ・食味検査表のグラフ化